

松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

鉱山の仕事 「開坑と採鉱」

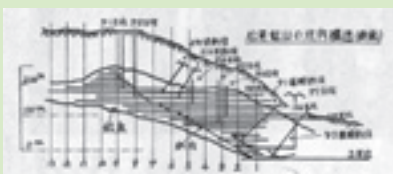
◆開坑とは

前回紹介した採鉱によって確認した鉱床から、鉱石を取り出すための通路を付けるのが「開坑」です。

坑口から鉱床までの部分を「立入」と呼び、鉱床内の廊下となる「水平坑道」、階段に相当する「斜坑」、吸排気などのための「立坑」と呼ばれるさまざまな坑道が複雑で多角的に掘られていきます。

◆松尾鉱山の開坑方式はマンション形式

松尾鉱山は、地表から水平坑道で開発に着手。鉱山事務所と同じ標高(海拔878^{メートル})の坑道を標準とし、そこから上下に12^{メートル}間隔で階層を重ねて、24階建てでマンションのような構造としました。



松尾鉱山の坑内構造(断面図)

◆柱房式採鉱と中段採鉱法

鉱床から鉱石を掘り出すことを「採鉱」といいます。松尾鉱山では安全面を考慮し、高さ6^{メートル}、幅10^{メートル}、奥行き28^{メートル}の部屋(房)を、厚さ6^{メートル}の床と天井、幅8^{メートル}の壁(柱)で支える「柱房式」を採用しましたが、床や天井、壁となっている部分は採掘できないため、その実収率(採掘可能量のうち採掘した鉱石の割合)は約23%にすぎません。より多くの鉱石を安全に採るため、二次採鉱では採掘後の空洞を碎(坑内から鉱石とともに搬出される価値の無い岩石や鉱物)などで埋めて天井や床部分を削る「中段採鉱法」により、実収率を47%まで向上させました。



松尾鉱山が開坑と採鉱に使った特殊仕様のダイナマイトは、1カ月当たり約20万本(20^{トン})。坑道の総延長は250^{キロメートル}を超えました。

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆夏の映画会

夏の夜、外で映画を楽しみましょう。

▶日時 7月17日(金)午後7時半から8時半

▶場所 市立図書館駐車場

▶上映作品 「貧乏神と福の神」「あずきおぼけ」「アリババと40人の盗賊」

※屋外で利用できる椅子の持参に協力ください。

※雨天または新型コロナウイルス感染症が県内で確認された場合は、中止となります。

◆読書マラソンがスタート

7月1日から読書マラソンが始まっています。参加を希望する人にはスタンプカードを発行しますので、市立図書館または松尾・荒屋の各コミュニティセンター図書室に申し込んでください。

▶期間 7月1日(水)から12月27日(日)まで

◆新着ピックアップ

『フライパンひとつでスパイスカレー』

著/印度カレー子、出版社/ぴあ株式会社

“作りやすさ”が第一に考えられた、カレーとスパイス料理の本。基本の3つのスパイスを用意するだけで、本格的なスパイスカレーに挑戦できます。



『やっぱり しごとば』

作/鈴木のりたけ、出版社/ブロンズ新社

お仕事紹介絵本「しごとば」シリーズ第6弾。プロサッカー選手や探検家、恐竜学者など、子どもに人気がある9つの仕事の魅力を、迫力のある絵と細やかな視点で伝えます。

